

恋の里

さらしな アンズの花まつり

2013年
4月13日(土)

会場

大正橋の北側
河川敷のアンズ畑

(千曲市更級地区若宮)

イベントスケジュール

少雨決行!

13:30 ~
戸倉上山田温泉
「湯上がり美女連」の踊り

14:00 ~ 15:00
「さらしな棚田バンド」コンサート
オリジナルの恋の歌ほか

さらしなの里の産物も販売!

お問い合わせ tel: 080-1085-0120



お立ち寄りスポット



佐良志奈神社

さらしなの里の若宮・芝原両区の氏神様。西側入り口には都人が「さらしな」に抱えてきた日本人の美意識が凝縮した和歌「月のみか露霜しぐれ雪までにさらしなせるさらしなの里」の碑があります。縁結びのお守りや、さらしなの里を紹介する書籍も販売。7年に1度、御柱祭が営まれます。

千曲川歩行者自転車道 (さらしなビューライン)



千曲市の中央を流れる日本最長の千曲川。下流に向かってその左岸の堤防は自動車の進入が禁止された歩行者と自転車の専用道路。「月の都」のさらしなの里の景観の醍醐味が体感できます。河川敷には野鳥や湧水に触れられる「水辺の楽校」があります。



冠着十三仏



里の中央にそびえる冠着山。頂上直下には死んでから極楽浄土に至るまで十三の仏様の審判を受ける信仰空間があります。十三の大岩を十三の仏様に見立てたもので、山に入るひとの安全も見守ります。十三仏の上には吊り上げとなる「浄土岩」も。夫婦、カップルにおすすめの「ふたり岩」もあります。



郷嶺山

里を代表する観月スポット。毎年中秋には音楽や芸術を楽しむ住民グループ「更級人風月の会」がイベントを開催します。古代から続いた「更級郡」という地名は市町村合併が進み、2005年になくなりましたが、「更級」のエッセンスが凝縮した句歌碑があります。親孝行の子を顕彰する娣捨孝子観音像もあります。



明德寺

里人の心の拠り所。お年寄りが憩うイベントをはじめ、音楽コンサートや子どもの体験宿泊などにも熱心です。冠着十三仏もお守りしています。もともとはさらしなの里を代表する山の冠着山(娣捨山)の峯の近くにあり、戦国時代に、里に下ったという説があります。

おみやげ・飲食スポット

3月現在の「さらしな会議」メンバーから紹介



杏宝園

tel: 026-276-6018

日本一のアンズ生産農家。加工品「半生アンズ」は、生食品の味をパワーアップして大人気。さらしなの里をアンズの果樹園でいっぱいにするのが夢。代表の高松義久さんは里の音楽グループ「さらしな棚田バンド」のメンバー。アンズのオリジナルソングもギター演奏してくれます。



あさひや

tel: 026-275-2374

さらしなの味。人気メニューは、さらしな焼きそば、ソースかつ丼、しょうゆラーメン。「さらしな焼きそば」は、めんの上のゆで半卵とかかった白いあんがアクセントになり、「月の都・さらしなの里」の美しさを目でも舌でも楽しめます。



味噌蔵 たかむら

tel: 026-276-0591

さまざまな種類のみそを中心に、さらしなの里の恵みも使った農産加工品を製造・販売しています。アンズや干し柿をはじめ、里の住民が長年かけた製法と味の商品化につなげることに力を注いでいます。



塚田アンズ農園

冠着山のすそ野の傾斜地を活用し、生食用のハーコットをはじめ伝統的信山丸などを栽培しています。さらしなの里のシンボルである冠着山に広がる山林の財産区の仕事も担っています。奥さまも農業に造詣が深く、さらしなの里の肝つ玉夫婦です。



ギター工房「あづみ」

全国のアマチュアギター制作コンテストで優勝。ギターを制作販売。音楽をはじめとする文化・芸術を里人を一緒に楽しむ住民グループ「更級人(さらしな)風月の会」事務局。さらしなの里の文化コーディネーター。奥様は養蜂家で、蜂蜜は「ハニーサラ」の名でネットでも販売。



さらしな堂

さらしな・娣捨の歴史・文化を発掘、発信する情報センター。出版物も制作販売。

「さらしな」が世界文化遺産級の地名であることを明らかにする「地名遺産 さらしな〜都人のあこがれ、そして今」。1冊 1000円

スイッチバックの恋

作詞: 大谷善邦
作曲: 高松義久

1 はじめて君を見たのは電車の中
窓のそと見つめる横顔だった
ぼくは近くで本ひらく
字を追うけれど頭には君の横顔
高校時代の初めての恋

2 声をかけたけどいまだに
帰りの電車 今日でもだめだった
ぼくは駅を出て坂道くだる
浮かび上がった月に見つめるのは君の横顔
高校時代の初めての恋

3 卒業までわずか 時間が足りない
ほんのいいの別れが問い合える
そのとき電車が止まって向き変えた
神が与えてくれた告白の勇気とチャンス
スイッチバックの恋 スイッチバックの恋

初恋の果実

作詞: 大谷善邦
作曲: 高松義久

1 君の頬(ほう)が赤らむと
ふくはいつも思ひ出す
ふるさとのアンズ さらしなのアンズ
君に食べさせてあげたい
初恋の果実 ほの赤みの純情

2 ひと口かじり君は言う
これがあじり君は言う
さらしなのアンズ 月の都のアンズ
初恋の果実 ほの赤みの純情

3 この木の前で誓います
月の都のアンズ 恋の里のアンズ
花の季節は思ひ出す
初恋の果実 ほの赤みの純情

風の歌

作詞: 大谷善邦
作曲: 金井栄一

1 おまえがまだ自転車に乗れなかったら
父は荷台に乗せて堤防走った
川風浴びて口笛吹くおまえは真似て口からかす
鳴らなかつたけどおまえが言ったのは
あ〜さらしなの風の音だね

2 父が昔に高校生だったころ
堤防はでこぼこ砂利道だった
川風浴びて口笛吹くおまえは真似て口からかす
鳴らなかつたけどおまえが言ったのは
あ〜さらしなの風の音だね

3 おまえが一人で乗り始めると
父は後を追って堤防走った
川風浴びて口笛吹くおまえは真似て口からかす
鳴らなかつたけどおまえが言ったのは
あ〜さらしなの風の音だね

ふたり岩

作詞: 大谷善邦
作曲: 森政教

1 世界は自分たちのためにあるとずっと思っていた
それは違つて言われたけれど
ふたり岩に登つてみれば やつぱり私たちのもの
母の子宮(おなか)のようなかのよなかかな
冠着山の 奇跡の空間

2 語り合っているうちに忘れてしまった時の経過を
こんな体験はいつ以来だろう
ふたり岩に登つてみれば 流れている別の時間
見上げた空には白いフルムーン
冠着山の 奇跡の空間

3 あなたとは添い添いしたいと今も思っています
口に出したことはなかったけれど
ふたり岩に登つてみれば これが私の本心です
ほんの気の持ったそはつけません
冠着山の 奇跡の空間